

# 見龍院日記 (菰野藩 10 世藩主 土方雄興の日記)

この日記は、菰野藩 9 代藩主土方義苗の子、雄興の嫡子時代の 31 歳から藩主であった 40 歳まで、すなわち文政 12 年 (1829) 正月元旦から天保 9 年 (1838) 4 月 15 日までの 9 年半程が、和綴 11 冊と一部仮綴りの状態でまとめられている。嫡子時代の 6 年と藩主時代の 3 年半からなり、江戸詰めが 7 年半、菰野での生活が 2 年分記されている。

外様小藩の藩主の日記が少ない中、江戸での登城の様子や菰野の藩政史の一端を克明に垣間見ることができる上、家族の動向も踏まえて藩主の日常的な事柄も丹念に記録されている。そのため、大名の公私の生活が解明できる資料として大変貴重な資料といえる。